



釧公大だより

AURORA



東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

C O N T E N T S

学長メッセージ	2
新任教員紹介	
オープンキャンパス	3
公開講座のご案内	4
就職戦線最新情報	
キャリアセンターだより	5
中央大学連携事業	6
地域経済研究センター フォーラム開催	
活躍する公立大生	7
インフォメーション	8
2026年度後期授業料について	



釧路地域における高等教育機関の連携と 未来像 — 試論 —

釧路公立大学学長 白 川 欽 哉

釧路地域をはじめとする道東地域は、日本の食糧供給や自然環境を支える重要な拠点である一方、急激な人口減少と超高齢化という厳しい現実に直面しています。こうした状況下で、医療・福祉、治安・行政、生活インフラ、物流に従事するエッセンシャルワーカーの確保、ならびに「産・官・学・金・言（情報）」を結ぶリーダーの継続的育成は、地域社会の存続を左右する最重要課題です。現在、釧路地域の高等教育機関は、教育・研究の場にとどまらず、地域のライフラインと社会基盤を人的な側面から支える不可欠な存在として機能しています。

まず、住民の日々の暮らしを守る人的資源の確保において、釧路地域にある短期大学や専門学校が存在は極めて重要です。来春開学の釧路公立大学短期大学部は、その前身組織の時代から栄養士や幼稚園教諭・保育士の養成を通じて子育てや就労の現場を強力に支援してきました。また地元の各種専門学校も看護師や介護福祉士の輩出に大きく貢献しており、これらの人材確保は地域で安心して暮らし続けるための前提条件となっています。

加えて、次世代を育む教育環境の維持という観点からは、北海道教育大学釧路校が重要な役割を担っています。同校は「地域教育」や「へき地教育」に強みを持つ教員養成を推進し、地域の学校へ優れた人材を供給し続けています。地域社会の知的基盤を支える教員の存在は、若い世代の定住や子育て世帯の安心感に直結しています。

さらに、寒冷地特有の環境と広域物流拠点を有する本地域では、インフラや産業基盤を支える技術者の育成が欠かせません。釧路工業高等

専門学校は、インフラ維持・管理や防災対策、エネルギー保全等を担う専門技術者を輩出しています。こうした工学的知見と釧路公立大学短期大学部などが培う食の加工・流通知識が連携することで、水産業や食品加工業をはじめとする「ものづくり基盤」はより一層強化されることでしょう。

そして、これらの現場人材や技術者が能力を最大限に発揮するためには、組織化や後方支援を担う社会経済的基盤の維持が不可欠です。まさにその領域において中心的な役割を果たしてきたのが釧路公立大学です。本学は道東唯一の社会科学系大学として、経済学・経営学・公共政策等の実践的な教育・研究を推進しています。企業（産）、自治体（官）、教育機関（学）、金融機関（金）、情報分野（言）へマネジメント、政策形成、情勢分析、マーケティングを担う人材を供給し、それらをつなぐ「ハブ」となることで、地域基盤の持続的な発展を支えています。

このように釧路地域の高等教育機関を俯瞰すると、明確な専門性と役割分担が構築されていることがわかります。人口減少下において、個別の教育機関や行政のみで人材確保に対応することには限界があるからこそ、釧路地域全体を「ひとつのキャンパス」と捉え直し、文理の枠を超えた包括的な教育体系を確立することが急務です。さらに、この釧路での実践を足掛かりとして十勝・オホーツク圏や全道規模での広域連携へと展開していくこと、すなわち領域横断的な文理融合のアプローチと広域連携の視点が、持続可能な地域の未来を切り拓く重要な鍵になるのではないかと考えています。

新 任 教 員 紹 介



新任のご挨拶

講師 **ちん 陳 びん 敏**

本年度4月より着任いたしました、陳敏と申します。私は中国湖南省で生まれ、天津で大学生活を送り、その後名古屋で大学院生活を過ごしてきました。中国語には「万卷の書を読み、万里の道を行く」という言葉があります。私はまだ見ぬ景色を求めて旅に出ることを、人生の楽しみの一つにしています。今回もご縁に恵まれて、私にとっては未知の土地である釧路にやってきました。

専門は中国語圏近現代文学で、中国本土、台湾、香港、さらには海外で中国語によって書かれたテ

クストにおける女性労働者表象について研究してまいりました。女性労働者については、日本には細井和喜蔵の名著『女工哀史』があります。しかし、声を持たない女性たちをただ被害者としてとらえる、いわば「被害者史観」には彼女たちを歴史の主体から排除してしまうという問題もあります。そうした女性たちの生活実践や生活感覚にも目を向けながら、文学テキストに彼女たちの姿を考えていきたいと思っています。

本学では「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「中国語Ⅲ」など中国語系の教養科目を担当します。また、中国語圏の文学や文化に関する授業も担当する予定です。教員として分かりやすく楽しい授業を目指しています。中国語や中華圏について学ぶことが、学生みなさんにとっても、私自身にとっても、心豊かな時間となるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

講師 **みやけ まさし 三宅 将史** 「統計Ⅱ」、「市場調査論」、「教養演習」

オ | ー | プ | ン | キ | ャ | ン | パ | ス

令和8年度のオープンキャンパスを8月1日(土)に開催いたしました。

今年も多く的高校生や保護者の方にご来場いただき、高校生と保護者を合わせて349名の方にご参加いただきました。

増山講師、村上准教授、畠山准教授による「授業紹介」や、4年生が大学生活や就職活動についての体験談を話す「大学生本音トーク」など、本学の雰囲気・魅力を感じていただけるプログラムを実施いたしました。また、大学生協様のお力添えのもと学食を体験していただく「キャンパスランチ」を実施したほか、4年生の学生による「キャンパスツアー」



を実施し、親切・丁寧な対応に感謝の声を多くいただきました。当日ご協力いただいた大学生協様、4年生の皆さん誠にありがとうございました。

今年のオープンキャンパスの様子は、YouTube(下記QRコード)にてアーカイブを公開しております。このほか、大学のさまざまな様子をSNSにアップしているので、お時間のある際にぜひご覧ください！



アーカイブ動画



釧路公立大学公式
インスタグラム



令和8年度釧路公立大学公開講座

共通テーマ「知の羅針盤 ー歴史と実践から社会を考えるー」

■藤田 祐 教授

講演テーマ パブリックヒストリーとは何か

概要 過去をもたない人間はいない。人間だけでなく、動物も、植物も、物も、この世界に存在するものは過去をもつ。過去との関わり合いをパブリックという概念を鍵に考察してきたパブリックヒストリーは、「歴史する」というキーワードで過去と関わり合う実践を推進してきた。20世紀後半に英語圏で始まって21世紀には世界中に広がった潮流であるパブリックヒストリーについて解説する。

■岸田 泰則 准教授

講演テーマ 仕事は自分でおもしろくできる！
ージョブ・クラフティングのすすめ
(大学会場)

概要 本講座では、近年注目されるジョブ・クラフティングの考え方をもとに、働きがいや主体的な働き方について考えます。ジョブ・クラフティングとは、与えられた仕事をただこなすのではなく、自ら工夫し、仕事の意味や人との関わり方を変えていく実践です。やらされ感のある仕事もおもしろいものに変えることができます。本講座では、身近な事例も交えながら、毎日の仕事を少し前向きに変えるヒントをわかりやすく紹介します。

■飯島 直樹 准教授

講演テーマ 「昭和天皇と戦後北海道～昭和天皇の戦争へのまなざし～」(地方会場)

概要 戦前は統治者として「戦争の時代」を指導し、戦後は国民の象徴となった昭和天皇。しかし、戦争責任論や退位論が渦巻く中で象徴天皇としての再出発は厳しい道のりでした。一方の昭和天皇自身も冷戦下の政治外交や北海道に強い関心を持ち、1954年には北海道巡幸を行いました。本講座では、近年公開された第一級史料『昭和天皇拝謁記』を読み解きます。史料を通して昭和天皇が「戦争の時代」や戦後北海道をどのように認識していたのかなどを考えます。

第Ⅰ部「昭和天皇の戦争へのまなざし」では、昭和天皇の戦争に対する回顧や反省を通して「戦争の時代」を振り返ります。

■濱田 弘樹 教授

講演テーマ 商業革命と知の復興が織りなす近世の大転換

概要 我々が何気なく使う決済や会計制度のルーツは15世紀ヨーロッパにあります。東方貿易拡大と情報技術の革新により、商業と知が融合した近代化の黎明期でした。本講座では、当時の商人たちが直面した命がけのリスクや、彼らを支えた銀行決済、社会に浸透した記録制度、そして世界を動かす知恵として「複式簿記」の誕生と普及の歴史を読み解きます。商業・制度・芸術が作用共鳴しながら、現代に繋がる歴史の連続性を学びます。

■岸田 泰則 准教授

講演テーマ ミドル・シニア社員がイキイキとはたらくためにー組織行動論の観点から
(釧路市会場)

概要 本講座では、ミドル・シニア社員がこれからもイキイキと働き続けるためのヒントについて考えます。人生100年時代といわれるなかで、働く期間は長くなり、年齢や役割の変化に応じて、自分らしい働き方を見つめ直すことがますます大切になっています。本講座では、組織行動論の視点から、ミドル・シニア期の働きがいやキャリアづくりについてわかりやすく紹介します。

■飯島 直樹 准教授

講演テーマ 「昭和天皇と戦後北海道～昭和天皇の北海道へのまなざし～」(大学会場)

概要 戦前は統治者として「戦争の時代」を指導し、戦後は国民の象徴となった昭和天皇。しかし、戦争責任論や退位論が渦巻く中で象徴天皇としての再出発は厳しい道のりでした。一方の昭和天皇自身も冷戦下の政治外交や北海道に強い関心を持ち、1954年には北海道巡幸を行いました。本講座では、近年公開された第一級史料『昭和天皇拝謁記』を読み解きます。史料を通して昭和天皇が「戦争の時代」や戦後北海道をどのように認識していたのかなどを考えます。

第Ⅱ部「昭和天皇の北海道へのまなざし」では、冷戦下の安全保障に関心を持つ昭和天皇から見た北海道への認識や北海道巡幸を通して、戦後北海道を取り巻く状況を振り返ります。

開催日時	講座名	講師	開催場所
R8.10.7 (18:30-20:00)	パブリックヒストリーとは何か	藤田教授	大講義室1
R8.10.14 (18:30-20:00)	仕事は自分でおもしろくできる！ ージョブ・クラフティングのすすめ	岸田准教授	大講義室1
R8.10.16 (18:30-20:00)	昭和天皇と戦後北海道～昭和天皇の戦争へのまなざし～	飯島准教授	釧路町コミュニティーセンター
R8.10.21 (18:30-20:00)	商業革命と知の復興が織りなす近世の大転換	濱田教授	大講義室1
R8.10.23 (18:30-20:00)	ミドル・シニア社員がイキイキとはたらくためにー組織行動論の観点から	岸田准教授	釧路市生涯学習センター まなぼっと
R8.10.28 (18:30-20:00)	昭和天皇と戦後北海道～昭和天皇の北海道へのまなざし～	飯島准教授	大講義室1

就 職 戦 線 最 新 情 報

業界研究会報告

6月8日から3週にわたり開催した「学内業界研究会」は、146社の企業・団体に参加をいただき、無事終了することができました。

今年度は時期を前倒しして前期に実施をしましたが、前年度を大きく上回る延べ3,064名の学生が参加をしてくれました。恒例のスタンプラリーを実施したことで、1、2年生の参加者も増えたことが特徴的でした。15日間、授業が終わった後に参加した皆さん、お疲れ様でした。

一部にはなりますが、参加者の声をお届けします。

《企業》「学生と近い距離間で対話ができる貴重な機会となりました」「早速、会社訪問の申し込みがありました」「低学年も参加をしてきて学生意欲の高さに感心しました」

《学生》「知らなかった企業の説明を聞いて興味がわきました」「夏休みに行きたいインターンシップ先に出会えて良かった」

次年度も同時期に開催しますので、積極的に参加をしてください。



PICKUP

OB・OGが教えてくれる仕事のアレコレ
～公務員編～

11月7日(土) 10:00～13:00

参加官庁(予定): 北海道庁・北海道警察・札幌市役所・釧路市役所
公務員として働く先輩を招き、地域や住民のために働くことから得られる「職業観」や『やりがい』、あるいは現在抱えている課題や取り組みなど、タイムリーでリアルな情報を知る機会です。無料のランチを食べながら、和気あいあいとした雰囲気の中でお話を聞けるので、ぜひ参加してください。

後期に実施する就職対策事業(予定)

1年生対象

【10月】 4年間を無駄にしない人が知っていること～
“選択”で人生が変わる体験型ゲーム～

2年生対象

【10月】 就活プレセミナー～「情報」を食べるな「経験」を稼げ！スマホを置くことから始まる就活準備～

【1月】 3年生でスタートダッシュを切る準備～選べる未来を広げよう～
就活サイト直接登録会～4社を比較して使いやすいものを見つけよう～

3年生対象

【10月】 本選考ES「構造分解」ゼミ
～AI・コピペに勝つ“実体験”の論理構成～
WEB ESテスト(添削)
面接攻略の「型」とオンライン戦略～質問意図の分解とWEB対策～
「選ぶ側」の心理学～面接官のホンネと建前を理解する90分の視点変換～

【11月】 模擬面接(個人)
現役採用コンサルタントによる模擬面接サーキット

【12月】 選考対策ラストセミナー～マイナビ編集長が教える最新のトレンドと攻略法～

【2月】 日本銀行見学会
直前対策模擬面接

全学年対象

【10月】 TOEIC IP試験
企業訪問報告会～大学おススメ企業情報～

【11月】 OB・OGが教えてくれる仕事のアレコレ～公務員編～
公務員志望“地域活性に貢献したい”では通用しない～人事も納得のESと面接～
WEB SPI受検会
簿記検定試験

【12月】 公務員試験説明会

【2月】 簿記検定試験

キ ャ リ ア セ ン タ ー だ よ り

希望の進路実現に向けて

最近、本学のSNSによる情報発信が活発です。

大学が発信元であるものはもちろん、各サークルの学生による情報発信も以前に比べて活発になっているようです。ぜひ一度チェックしてみてください。

そんなSNSを眺めていると、元プロ野球選手が、少年野球の指導をしている動画が流れてきま

した。元プロ野球選手は言います。

「エエか、人生は思った通りにはならん。けど、やった通りにはなる。サボったらサボったなりに、練習したら練習したなりにや。」

首位打者2回、盗塁王にも輝いたこの人の言葉は説得力バツグン。少年たちも聴き入っています。私も聴き入りました。

で、さっそく、学生相手にこれを使わせていただいているという次第です。

中央大学FLPサマースクールを開催 地域課題の解決に向けた学びと交流を実施

8月24日から26日にかけて、中央大学FLP（Faculty-Linkage Program）サマースクールが釧路市及び鶴居村で開催されました。本事業は、中央大学、釧路公立大学、釧路市及び鶴居村の4者による包括連携協定に基づく取組の一環として実施されたものです。

FLPは、中央大学が展開する学部横断型の教育プログラムであり、学生が社会課題や地域課題について実践的に学ぶことを目的としています。今回のサマースクールには中央大学の学生・教員ら39名が参加し、市役所や役場、関係機関へのヒアリング調査を通じて、地域の現状や課題について理解を深めました。

本学からも学生が参加し、中央大学の学生とともに「地域課題の解決」をテーマに調査活動を実施しました。釧路市役所では職員へのヒアリングを行い、地域振興や人口減少対策、観光などに関する取組や課題について学び、現場の声に触れながら考察を深める貴重な機会となりました。

また、25日には両大学の学生による交流会が開催されました。学生たちは食事を囲みながら親睦を深め、互いの大学生活や地域の魅力について語り合うなど、和やかな雰囲気の中で交流を楽しみました。

今回のサマースクールは、地域をフィールドとした実践的な学びに加え、大学間交流を深める機会ともなりました。今後は、12月に中央大学多摩キャンパスで開催の成果報告会に参加を予定しています。



第6回ひがし北海道 地域経済・金融フォーラム開催のお知らせ

今年で6回目になる本フォーラムでは、本学の卒業生や地域で活躍する方々をお招きし、各分野における経験や知見、取り組みなどについてお話ししていただいています。さまざまな分野で活躍する方々の歩みや考えに触れ、今後の学びや活動について考える機会としていただければ幸いです。

また、今年から第Ⅲ部学生発表を一新！ポスターセッション形式にすることで学生との交流や意見交換が可能になりました。

3部制となっており、1部だけの参加も可能となっております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

◇日時

令和8年11月14日(土) 10:00～16:30

◇会場

I部・II部セミナー 釧路公立大学 大講義室1
Ⅲ部学生発表 釧路公立大学 アトリウム

◇テーマ

- ◆I部・経済セミナー
10:00～11:35「地域経済と域外交流について」
- ◆II部・金融セミナー
13:00～14:30「金融機関のスタートアップ支援について」
- ◆Ⅲ部・学生発表
15:00～16:30「ひがし北海道地域の地域活性化について」



◇お申込み

令和8年11月11日(水)まで
下記QRコードよりお申込みください。



活躍する公立大生

行政書士試験

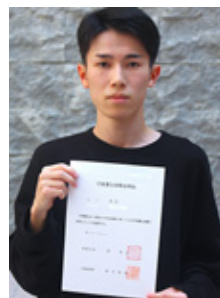
この度、3年生の南 伯さんが行政書士試験に見事合格しました！

行政書士試験は、合格率10%前後と非常に難関な試験です。

しかし、南さんは大学2年生から11月の試験に向けて勉強を始め、7か月という短期間で合格しました。

この合格は、南さんの計画性と集中力、そして何よりも揺るぎない努力の賜物です。

行政書士試験の合格誠におめでとうございます！



釧路公立大学へのご寄附について

釧路公立大学では個人や企業・団体の皆様より、学生教育や学術研究の充実・発展を目的とする寄附をお願いしております。寄附金に関して、所得税法及び法人税法による税制上の優遇措置を受けることができます。

申し込み方法など、詳しくは釧路公立大学のホームページをご覧ください。

インフォメーション

K.P.U. フェスタ2026

夏の暑さが過ぎ少し肌寒い時期になってきました。

今年で第26回となります『K.P.U.』フェスタはコロナ禍を乗り越え奮闘してきました。もっとK.P.U. フェスタを大きく、たくさんの人に楽しんでもらいたい。今年はそんな思いを込め、『舞』というテーマを掲げ活動を行ってきました。

露店やサークルブース、音楽祭などの参加団体も広く参加を募り、協賛企業様もより多くの企業様にご協賛いただけるように委員会のメンバーと協力し邁進してまいりました。

今年のテーマは先述の通り『舞』です。昨年のような青空の上で委員会だけでなく様々な人が自分たちを表現できる良い機会になってほしい。タン

チョウの美しい舞のように活があり、気品のある大学生の姿を地域の方に見せてほしいと考えております。

これからも進化を続けていくK.P.U. フェスタを温かく見守っていただければと思います。

最後になりますが、大学祭を開催するにあたり協賛、広告でご協力いただいた企業の皆様、実行委員会に様々なご支援をいただいた大学関係者の方々、またこんな自分に手を差し伸べてくれた実行委員のメンバー一同にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



2026年度後期授業料について

後期授業料の納入期限は10月30日(金)までとなっております。ATMや金融機関、インターネットバンキングでの口座振込または金融機関窓口にて同封の「振込依頼書」によりお振込みください。授業料の分納(延納)を希望される場合は、右記のQRコードから申請してください。



【申請期限】令和8年9月24日(木)～令和8年10月20日(火)

※4年生は受付期間及び納付期限の変更により、すでに受付期間が終了しておりますので、分納(延納)を希望する場合は経営企画課までご連絡ください。

また、令和7年4月より多子世帯(子ども3人以上を扶養する世帯)への大学等の授業料等無償化が拡充されました。減免を受けるためには給付奨学金の申込が必要となりますので、前期に申請をしていない方は申込期限内に学生課窓口にて申請を行ってください。

学力要件や扶養状況等により支援対象外となる場合もありますのでご注意ください。

●対象となる世帯(例)

※令和6年12月31日現在

(対象外)

	第1子大学進学	第1・2子大学進学
社会人		他大学で減免を受けている場合も対象
大学生		
高校生以下		

第1子が卒業後就職

表紙作品解説 「ダルマ hop」

作者：1年 松井 丈真

ダルマは和風のイメージがどうしても強いので、あえてヘッドホンとダルマによく書かれている福をhappyにして遊び心をくわえました。ポップでキャッチーなダルマです。横須賀とか好きそうですね。

釧路公立大学だより 第74号
2026年(令和8年)10月1日発行
◎発行元
釧路公立大学
〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号
TEL 0154-37-3211
FAX 0154-37-3287
経営企画課: TEL 0154-37-5089
URL・<https://www.kushiro-pu.ac.jp/>
◎発行日
毎年2回(4月1日、10月1日)